

令和7年度 ESD/SDGs 津谷中学校 総合的な学習の時間（向が丘楽習） グランドデザイン

【生徒の実態】 - 明るく素直な性格であり、上級生やリーダーを中心にまとまりのある行動ができる。 - 自尊感情がやや低く、成功体験が乏しい。 - 意見を積極的に発表することに苦手意識がある。 - 授業では、単元内自由進度学習に取り組んでおり、課題を見付け、進んで学習に取り組む生徒が多い。	【学校教育目標】 創造的で、自律し、対話・協働で進む生徒の育成 【向ヶ丘学習の目標】 探究的な見方・考え方を働かせ、地域の人、もの、ことに関わる総合的な学習を通して、目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し、自己の生き方を考えることができるようになるために、以下の資質・能力を育成する。 <table><tr><td>知識及び技能</td><td>思考力・判断力・表現力</td><td>学びに向かう力、人間性</td></tr><tr><td>地域の人、もの、ことに関わる探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域の特徴やよさに気づき、それらが人々の努力や工夫によって変えられていることに気付く。</td><td>地域の人、もの、ことの中から問いを見だし、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に考えたりする力を身に付けるとともに、考えたことを、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付ける。</td><td>地域の人、もの、ことについての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動を考え、自ら社会に参画しようとする態度を育てる。</td></tr><tr><td colspan="3">重点的に育てたい資質・能力</td></tr><tr><td colspan="3">批判的に考える力、多面的・総合的に考える力、他者と協力する力、進んで参加する態度、多様性</td></tr></table>	知識及び技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力、人間性	地域の人、もの、ことに関わる探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域の特徴やよさに気づき、それらが人々の努力や工夫によって変えられていることに気付く。	地域の人、もの、ことの中から問いを見だし、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に考えたりする力を身に付けるとともに、考えたことを、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付ける。	地域の人、もの、ことについての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動を考え、自ら社会に参画しようとする態度を育てる。	重点的に育てたい資質・能力			批判的に考える力、多面的・総合的に考える力、他者と協力する力、進んで参加する態度、多様性			【保護者の願い】 - 自分の考えを持って課題に取り組み、友達と協力して活動に励んでほしい。 - 将来の見過しを持ち、将来になりたい職業を見据えた基礎的な学力を身に付け、その力をもとに挑戦し続けてほしい。
知識及び技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力、人間性												
地域の人、もの、ことに関わる探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域の特徴やよさに気づき、それらが人々の努力や工夫によって変えられていることに気付く。	地域の人、もの、ことの中から問いを見だし、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に考えたりする力を身に付けるとともに、考えたことを、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付ける。	地域の人、もの、ことについての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動を考え、自ら社会に参画しようとする態度を育てる。												
重点的に育てたい資質・能力														
批判的に考える力、多面的・総合的に考える力、他者と協力する力、進んで参加する態度、多様性														
【地域の実態】 - 地域の教育的関心が高く、積極的に協力する。 - 地域は人づくりを教育の柱としている。 - 豊かな自然がある。（海・山・川） - 地域には、農業、林業、漁業、畜産業など豊富な人材がある。	【地域の願い】 - 地域のよさを知り、地域を支える人材として成長してほしい。 - 地域の企業や人材を利用して、学習に取り組んでほしい。													

【全校で行う学習活動】：ESD/海洋教育・海洋学習

時間	月	日（曜日）	時数	大項目	内容項目	内容			課題 主な内容	担当 及び 講師	input/output	SDGs、ESD、海洋教育との関連
						1年	2年	3年				
1	4月		1	ガイダンス	回数	1年間の流れ・計画について 海のことを学ぶのは1つのきっかけ 探究テーマを考える			ESD・総合的な学習の時間	input		
2				3	講話	VUCA・SDGs・Society5.0 など、このような学習が必要なのか						全校
3	5月		3		地域を知る	講話	地域を知る 自然・地理 歴史 海洋 防災			歴史、海洋 防災	小泉史談会、小野寺佑紀先生 気仙沼市危機管理課	input
4				講話	①講話によるインプット			海のこと全般	東北大学 須賀利雄先生	input		
5				講話設定1	①講話の設定 → ②情報の収集（基礎的な調べ学習）				地球温暖化	ケンタロ・オノさん	input	
6				講話設定2	①講話の設定 → ②情報の収集（基礎的な調べ学習）				学年	input		
7				講話	①講話によるインプット				川	気仙沼海のプロジェクト 谷山知宏先生、村上克弥先生	input	
8				講話設定3	①講話の設定 → ②情報の収集（基礎的な調べ学習）				学年	input		
9	6月		10	①課題設定	①講話によるインプット				海	370Lab. 田口康夫先生	input	
10				講話設定4	①講話の設定 → ②情報の収集（基礎的な調べ学習）				学年	input		
11				講話	①講話によるインプット				海ごみ	KOBUN 佐藤孝良さん、鈴木孝一郎さん お茶の水女子大学 豊海彰先生	input	
12				講話設定5	①講話の設定 → ②情報の収集（基礎的な調べ学習）				学年→グループ（ゼミ形式）	input		
13				発表	課題発表会	①探究課題の発表 → 質疑、応答			グループ（ゼミ形式）	output		
14				7月		4	②情報の収集	情報の収集1	②情報の収集（調べ学習） フィールドワーク 等			
15	情報の収集2	②情報の収集（調べ学習） フィールドワーク 等					グループ（ゼミ形式）	input				
16	8月 夏季休業 資料収集やフィールドワークを行う、探究学習コーディネーターのアドバイスを受けるなど、有効に活用する											
17	9月		6	②情報の収集 ③整理・分析	情報の収集3 整理・分析1	②情報の収集（調べ学習） ※2回目フィールドワーク 等も可 ③整理・分析				グループ（ゼミ形式）	input	
18					情報の収集4 整理・分析2	②情報の収集（調べ学習） ※2回目フィールドワーク 等も可 ③整理・分析				グループ（ゼミ形式）	input	
19					情報の収集5 整理・分析3	②情報の収集（調べ学習） ※2回目フィールドワーク 等も可 ③整理・分析				グループ（ゼミ形式）	input	
20					10月		10	④まとめ 表現	まとめ 表現1	④まとめ・表現（プレゼンテーション等作成）		
21	まとめ 表現2	④まとめ・表現（プレゼンテーション等作成）							グループ（ゼミ形式）	output		
22					まとめ 表現3	④まとめ・表現（プレゼンテーション等作成）				グループ（ゼミ形式）	output	
23					まとめ 表現4	④まとめ・表現（プレゼンテーション等作成）				グループ（ゼミ形式）	output	
24					まとめ 表現5	④まとめ・表現（プレゼンテーション等作成）				グループ（ゼミ形式）	output	
25					11月		3	発表	グループ別 発表会	④まとめ・表現（発表）		
26			2	まとめ 表現				訂正	④まとめ・表現（修正や訂正）			
27				12月		3	発表	全校発表会	④まとめ・表現（発表） ※お世話になった事業所や地域の方、保護者も参加する。			
28	1	振り返り	振り返り				ルーブリックによる振り返り、オープンバッジの配布			学年	output	

※大項目・内容の①～④は、「探究的な学習における生徒の学習の姿（文部科学省）」に対応

